

第1回メンター研修の実施について

平成22年2月9日(水)、10日(木)(13時15分～17時15分)に女性研究者の支援と育成を目的として、メンター研修を実施しました。

メンター制度とメンターの役割についての、基本的な知識やコミュニケーションスキルを習得しました。

先輩研究者が、若手研究者と対話し、研究者としての悩みや不安の軽減に向けたアドバイスを行い、キャリア形成へのステップアップができるよう体制を整えていきます。



女性研究者の異分野間研究交流

AWA Support Center Retreat

AWAサポートセンターでは、2月19日(土)、20日(日)、ウェスティンホテル淡路で、リトリートを開催しました。

日頃取り組まれている研究内容について女性研究者から発表が行われました。発表後の質疑応答も活発に行われ、これからの取組について話し合われました。

今後も、このような機会をとおして女性研究者の意識の向上を図るとともに、研究交流の場として機能していくことに期待したいと思います。

気の合う人や新しい仲間との素敵な時間を過ごしましょう♪



出張講義

からだ、かかわり、こえことば ～アサーティブの心～

国際センター Gehrtz 三隅友子 教授



平成23年5月23日(月)、徳島県立鳴門第一高等学校にて、11月に実施予定の「コミュニケーションの達人に！」(2年生、160名対象)の準備講座として、教員28名に対して「からだ、かかわり、こえことば ～アサーティブの心～」の授業を行いました。今回は理論の説明より体験に焦点を当て、昨年の生徒向けの内容を先生方に提示し、どのように講義を進めたいのか、またどのように改善すればもっと内容の理解が深まるかを一緒に考えることを目標に取り組みました。ペアになって自己開示やフィードバックを行い、また各活動の意味や方法を紹介し、短い時間でしたが体験していただきました。アンケートから得られたコメントは、日ごろ指導で感じていることや、生徒の立場からの気づきもあり、男女を越えた人と人の関係をつくっていくことにしっかりとつながっていたように思います。出張講義を通して、長期的な学校ぐるみの取り組みを支援していくことの必要性も強く感じました。

愛媛大学女性未来育成センター・医学部ジョイントセミナー

平成23年6月24日(金)、愛媛大学医学部総合教育棟第1ゼミナール室にて、「女性未来育成センター・医学部ジョイントセミナー」が開催されました。

徳島大学AWAサポートセンター長の本仲教授が「徳島大学AWA(OUR)サポートシステム」についてご講演されました。



銅が銀になり金になる これホント!?

AWAサポートセンター長 本仲純子



平成23年8月3日(水)9時30分から徳島県立城ノ内中学校において、出前実験を行いました。化学に興味のある中学1年生から3年生の11名が参加しました。はじめの30分間は、めっきについての化学的な講義を行い、実験にとりかかりました。思い思いに細工した銅線や銅板の表面に、亜鉛を被覆し、加熱によって黄銅に変化させました。中学生達は銅色—銀色—金色の化学変化を実験により楽しみながら勉強しました。

イベント報告(平成23年度)

第2回徳島大学女性研究者交流会

平成23年6月30日(木)12時から13時まで、日亜メディカルホールにてAWAサポートセンター主催の女性研究者交流会が開催されました。

教員、大学院生や常三島キャンパスからも参加者がありました。

司会は、本仲センター長が務め、ご挨拶では、はじめに五十嵐副学長から、大学において女性研究者の必要性とAWAサポートセンター事業の取組みについてお話をいただき、続いて玉置医学部長より、女性研究者が継続して働ける環境整備等が大切と述べられました。

その後、バイキング形式での昼食をとりながらお互いの研究分野や悩み、問題などについて情報交換を行い、大変有意義な時間を過ごすことができました。

最後に、副センター長の山内教授より、更なる発展への期待、コメントをいただき、盛況のうちに幕を閉じました。



第2回徳島大学AWAベビーシッター養成講座

徳島大学AWAサポートセンターでは、平成23年7月2日(土)、3日(日)にベビーシッター養成講座を開講しました。

学生だけでなく、教員からも参加申込があり総勢17名が受講しました。



1日目は、青藍会館で「乳幼児の発達について」、助任保育園保育士の平井先生による講義が行われ、赤ちゃんの人形を使い、オムツの交換や絵本の読み聞かせ、手遊び、歌などを練習しました。その後、助任学童指導員の岡先生により学童期の子供の接し方について講義が行われました。

資料に沿った内容だけでなく、多彩な演習や実習など、自らが参加し体験できる講義は、受講生から好評でした。

2日目は、医学部の第3、4会議室において医学部学生により、乳幼児救命救急実習が行われ、気道異物の除去や成人を対象とした、人口呼吸、心臓マッサージなどの心肺蘇生法の手順、AED(自動体外式除細動器)の使用方法について学びました。

最後に、8月から実施される乳児・幼児・学童自習の心得について桑原教授から説明がありました。

参加者からは、「とても楽しかった」、「機会があれば、ぜひまたやってほしい」など、多くの感想が寄せられました。

